

第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 資料4

基盤整備部会の検討状況について

2024年2月7日
台東区都市づくり部

※内容については、今後、関係者と協議していくものであり、
決定した内容ではございません

1. 浅草地区が有すべき広域的機能等

1-1. 浅草地区が有すべき広域的機能等

■まちづくり

都市づくりのグランドデザイン 東京都 H29年度

東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 東京都 R2年度

台東区都市計画マスタープラン 台東区 H30年度

- 芸術・文化・観光の拠点の形成
- 交通結節機能の強化や歩行者空間の整備
- 駅と船着場との交通結節機能の強化
- 浅草寺周辺と隅田川の水辺空間とのにぎわい空間が結び付き、交流を活発化
- 観光・商業・居住等の多様な機能が共生するまち

■文化・観光・産業

PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン 東京都 R3年度

台東区観光振興計画 台東区 H27年度

台東区の観光復活に向けた方針 台東区 R3年度

台東区産業振興推進方針 台東区 R3年度

- あらゆる旅行者が快適に滞在できる受入環境整備
- イベントの魅力を磨き上げるとともに、道路空間の活用を検討するなど、まちのにぎわいの創出
- 舟運の活性化に向けた取組みの推進
- 水辺空間の魅力向上
- 観光客の回遊性の向上
- 観光案内機能の強化
- 新販路開拓や売上確保、新たな分野での起業などの取組みに対して果敢に支援

1-1. 浅草地区が有すべき広域的機能等

■水辺

隅田川等における新たな水辺整備のあり方 新たな水辺整備のあり方検討会 H25年度

隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会 R5年度
舟運活性化に向けた取組総括 東京都 R4年度

- 浅草寺や東京スカイツリー等を含めた大規模な観光拠点とし、上野⇄浅草⇄東京スカイツリーをつなぐ役割
- 隅田公園と水辺空間の一体的な整備、活用（スーパー堤防整備、オープンカフェ・隅田公園再整備との連携）
- テラスの動線強化の拡充
- オープンカフェ、かわてらす®の誘致
- 防災船着場のイベント等での活用促進
- 羽田～浅草縦断ルート等の航路の可能性を検証

■防災

東京都地域防災計画 東京都防災会議 R5年度

東京都豪雨対策基本方針 東京都 R5年度

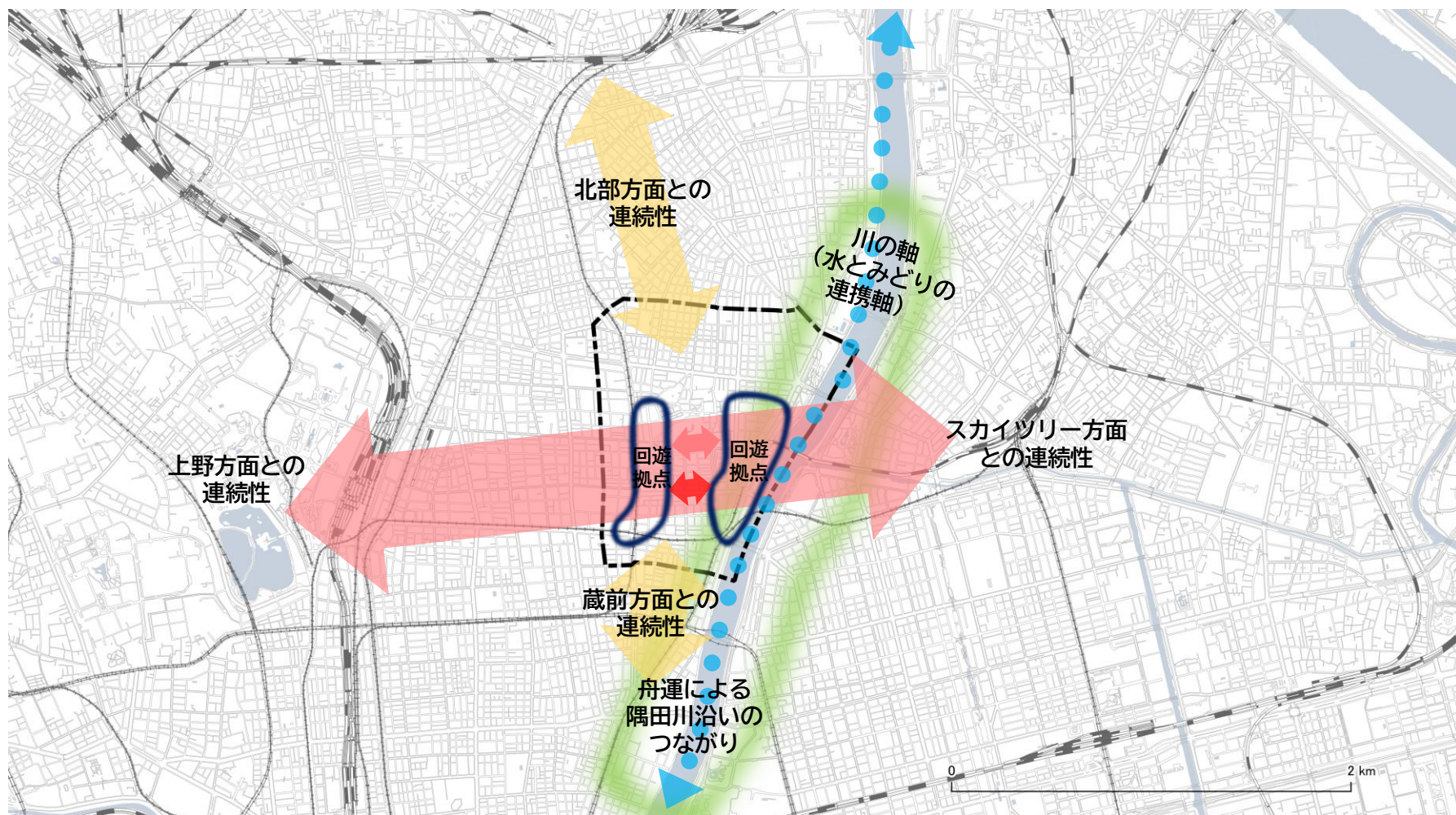
台東区地域防災計画 台東区 R3年度

- 浅草駅は緊急輸送ネットワークの拠点
- 江戸通りは特定緊急輸送道路
- 隅田川等は順次スーパー堤防や緩傾斜型堤防に改築
- 下水道幹線や貯留施設等の整備を推進
- 観光客や買い物客等の不特定多数の帰宅困難者を受入れるための施設の確保が課題

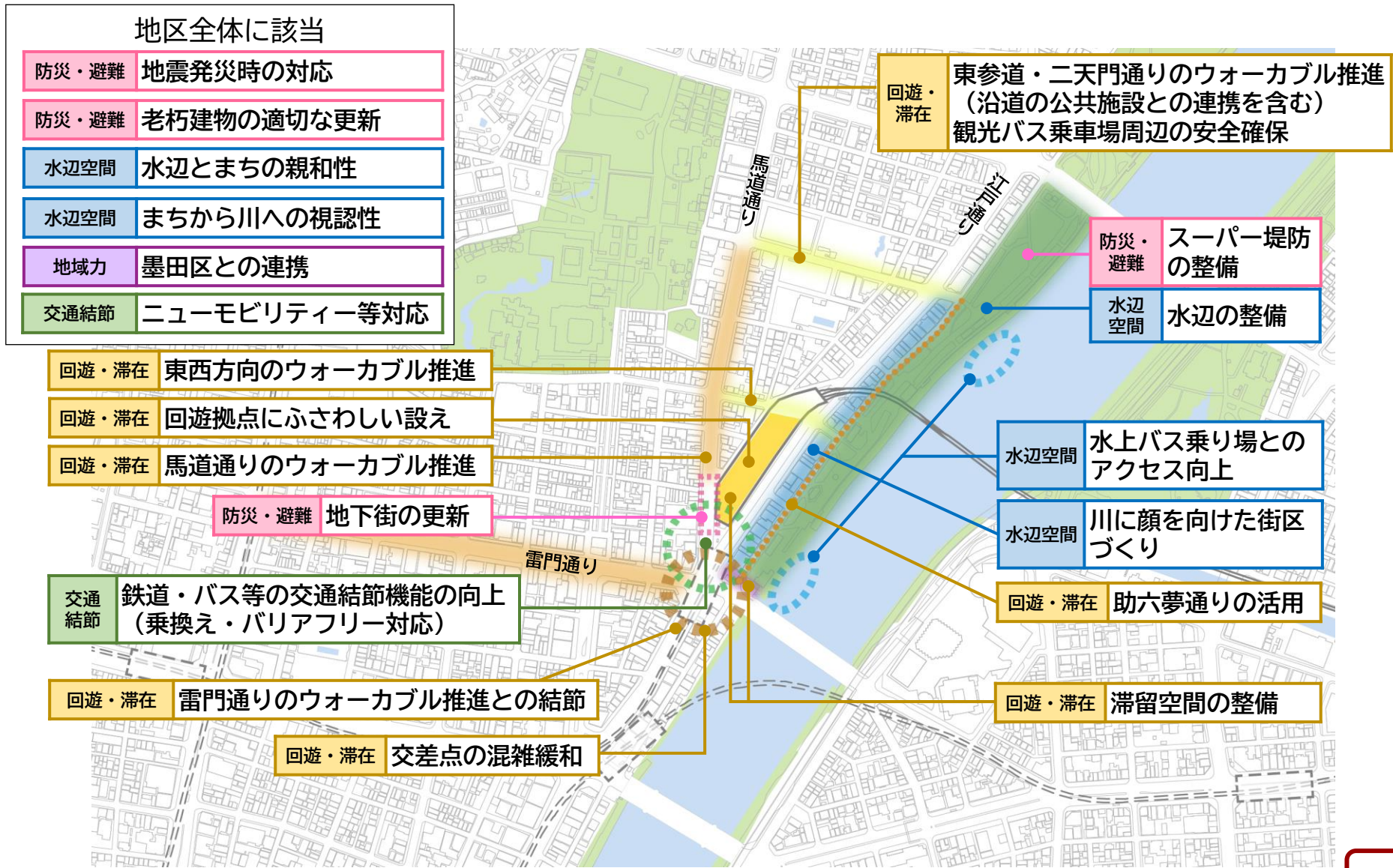
2. 基盤整備の方向性

2-1. 回遊拠点づくり

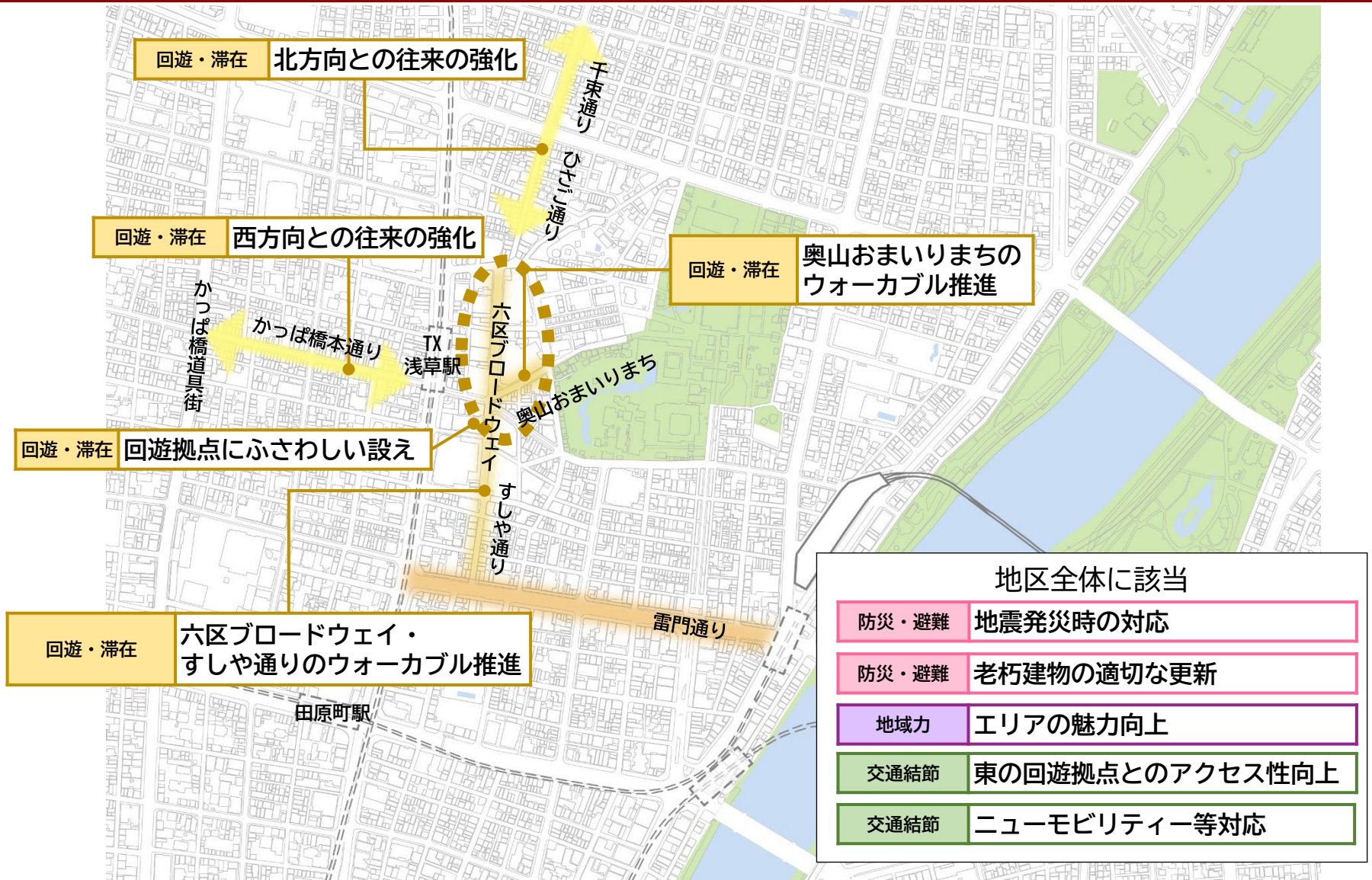
- 周辺地域とつながる広がりある浅草の形成に向けて、浅草地区の東と西にまちの拠点を設け、地区内外の回遊の起点とする



2-2. 東の回遊拠点検討エリアの検討項目



2-3. 西の回遊拠点検討エリアの検討項目



2-4. 東の回遊拠点検討エリアに期待される機能

- 東の回遊拠点検討エリアには、4つの機能が期待される

回遊・滞在 / 回遊・滞留空間の充実

- 東の回遊拠点周辺に不足する歩行者空間の充実
- 歩行者空間の結節、ネットワーク化

水辺空間 / 水辺につながる空間の充実

- より安全で、居心地の良い水辺空間の創出
- まちと水辺・隅田公園の往来促進のための動線・視認性確保
- 対岸や、より広域な地域とのつながりの強化

交通結節 / 交通結節機能の充実

- まちと鉄道・バス・水上交通等多様な交通の結節機能の充実

防災・避難 / 防災性の向上

- 災害に対する備え
- 災害時等に一時的に滞留できる空間・施設の充実

防災性の向上

①回遊・滞留
空間の充実

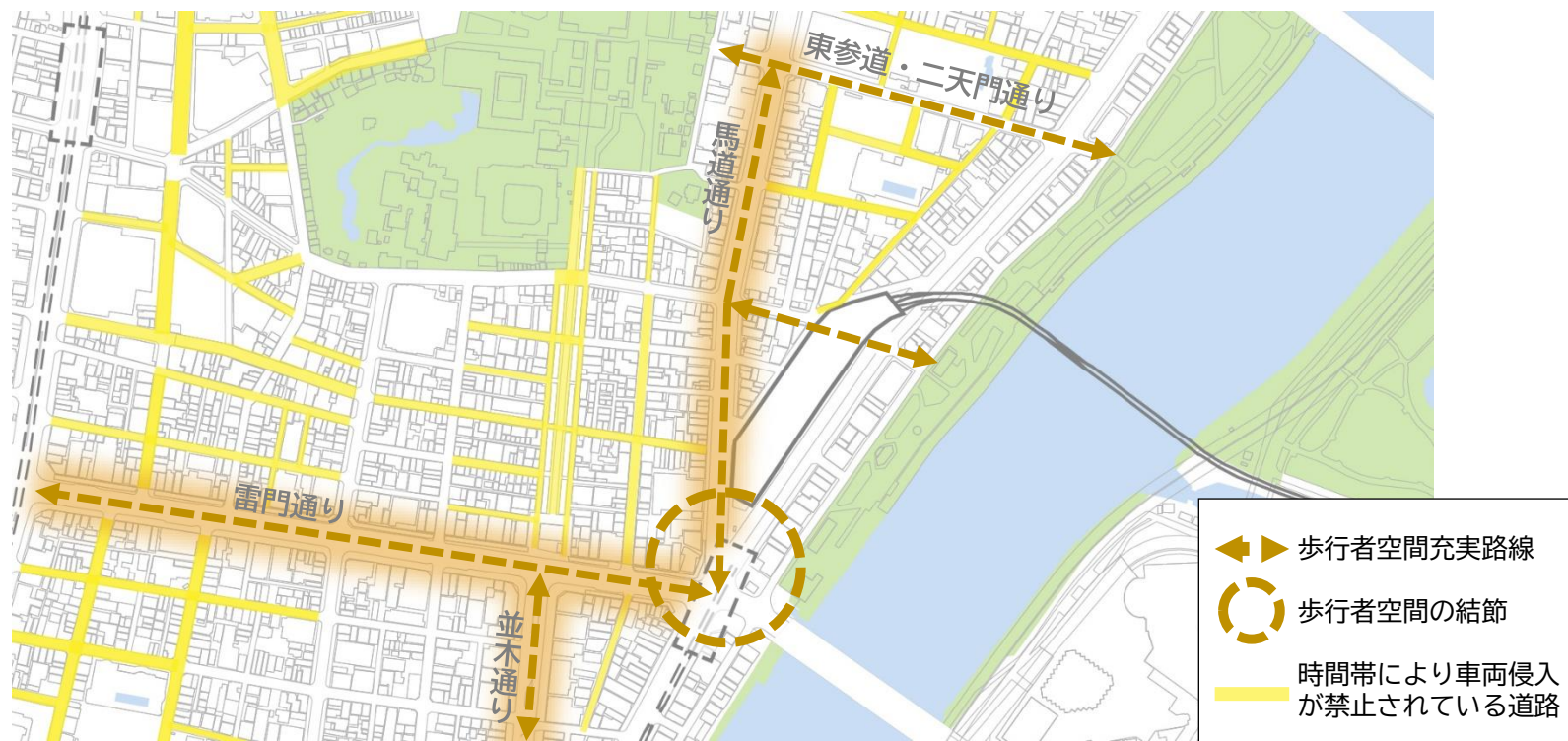
②水辺に
つながる
空間の充実

③交通結節
機能の充実

2-5. 東の回遊拠点検討エリアの基盤整備の方向性①

① 回遊・滞留空間の充実

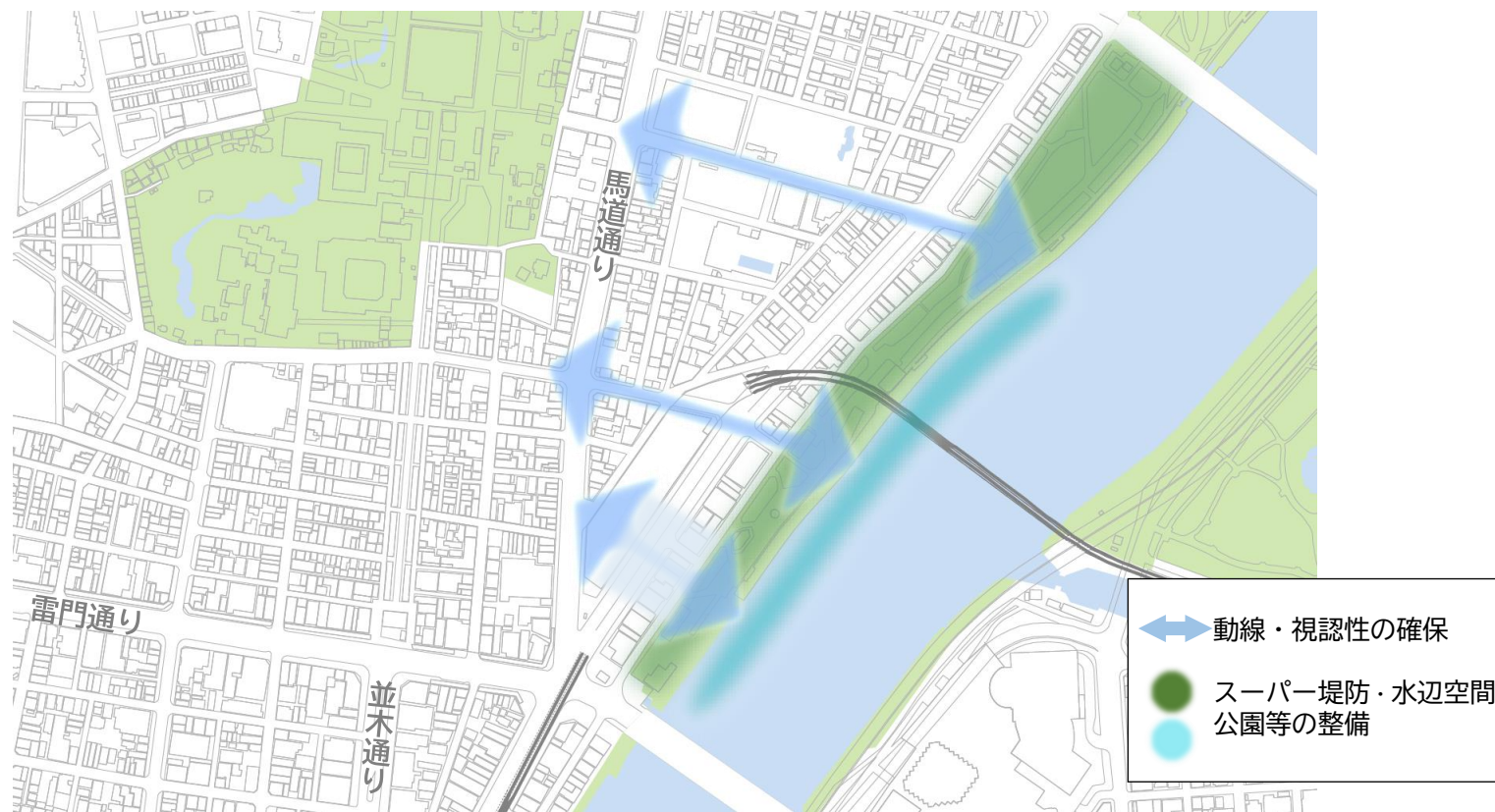
- 歩行者空間の充実により、来街者の混雑が緩和され、滞留空間の不足が解消される
- 滞留空間と駅を結節させることで、回遊の拠点としての役割が期待される
- 歩行者空間のネットワーク化により、回遊性の向上が期待される



2-5. 東の回遊拠点検討エリアの基盤整備の方向性②

② 水辺につながる空間の充実

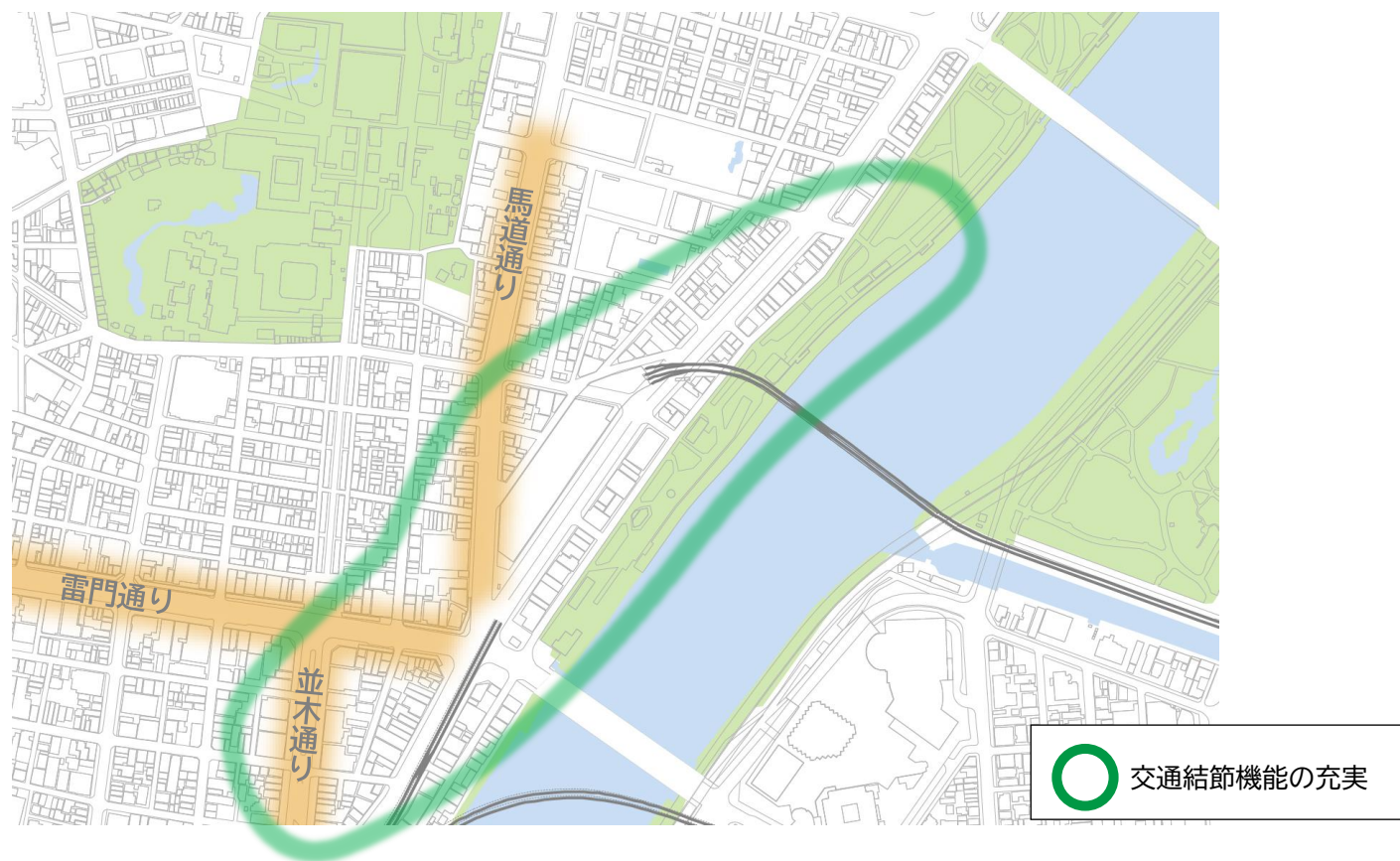
- スーパー堤防・水辺空間・隅田公園等の整備により、安全性の向上・水辺空間の充実・墨田区側等との往来の促進が期待される
- 水辺への視線の抜けの確保や水辺へのアクセス強化により、まちと水辺の往来促進や船着場の利活用促進が期待される



2-5. 東の回遊拠点検討エリアの基盤整備の方向性③

③ 交通結節機能の充実

- 浅草駅周辺における鉄道やバス、水上交通等の多様な交通の結節機能を高めることで、円滑な乗換え環境整備やバリアフリーの向上が期待される



2-6. 東の回遊拠点主要な基盤整備の方向性（まとめ）

地区全体に該当

防災・避難 地震発災時の対応

防災・避難 老朽建物の適切な更新

水辺空間 水辺とまちの親和性

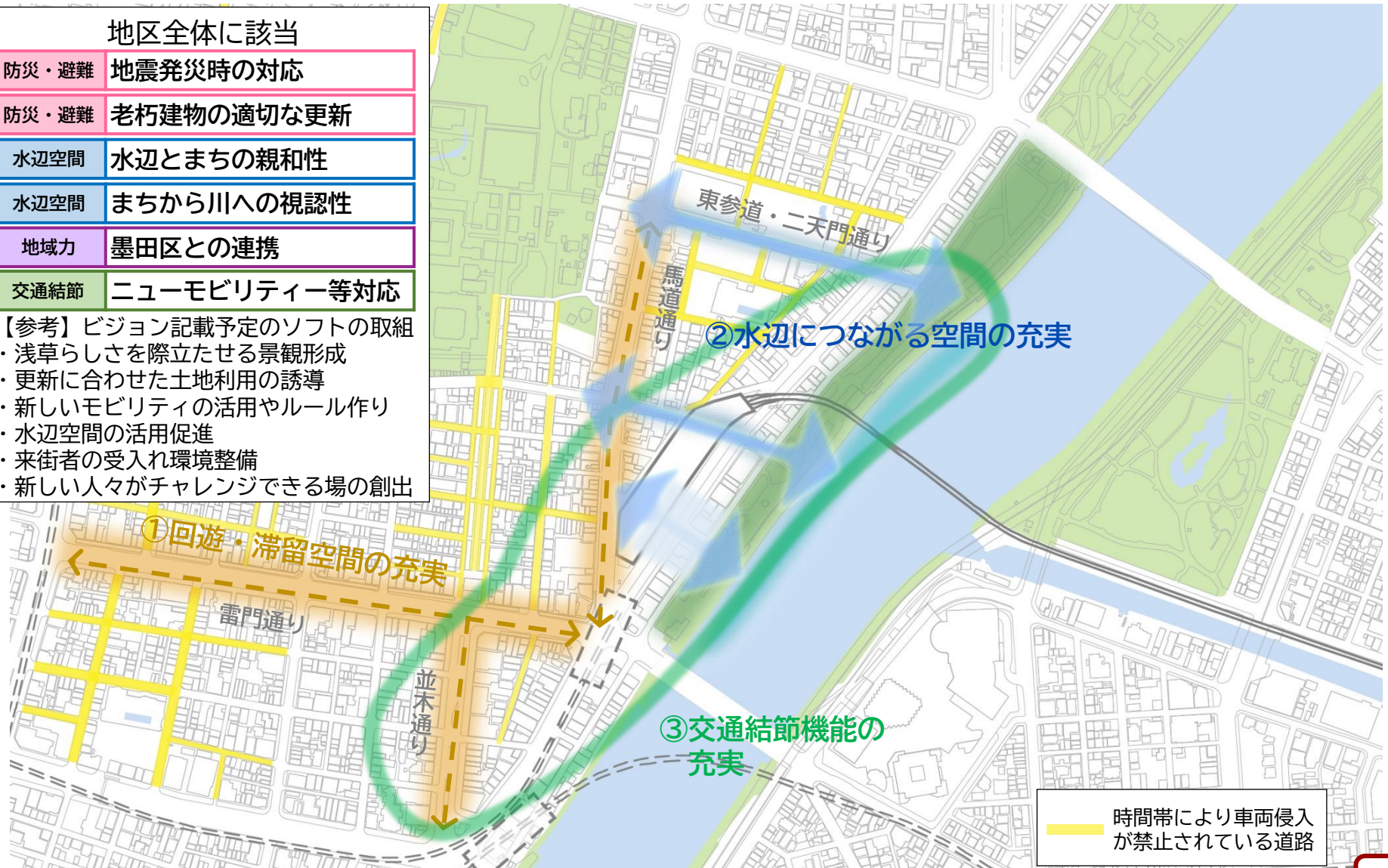
水辺空間 まちから川への視認性

地域力 墨田区との連携

交通結節 ニューモビリティ等対応

【参考】ビジョン記載予定のソフトの取組

- ・浅草らしさを際立たせる景観形成
- ・更新に合わせた土地利用の誘導
- ・新しいモビリティの活用やルール作り
- ・水辺空間の活用促進
- ・来街者の受入れ環境整備
- ・新しい人々がチャレンジできる場の創出



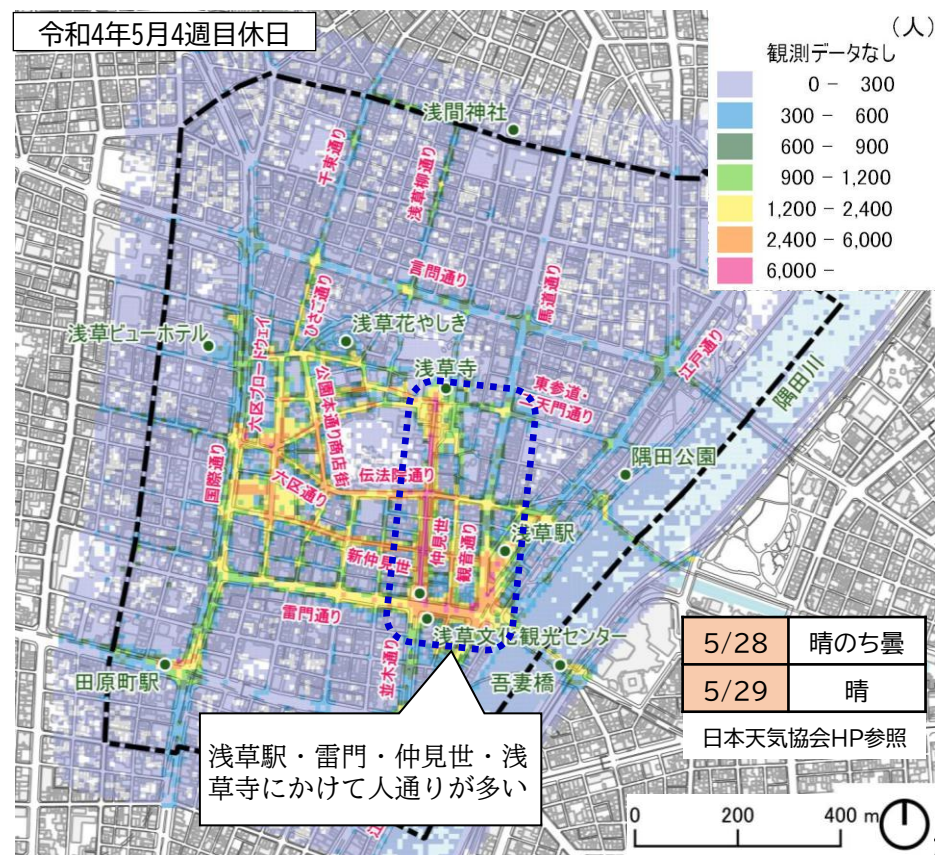
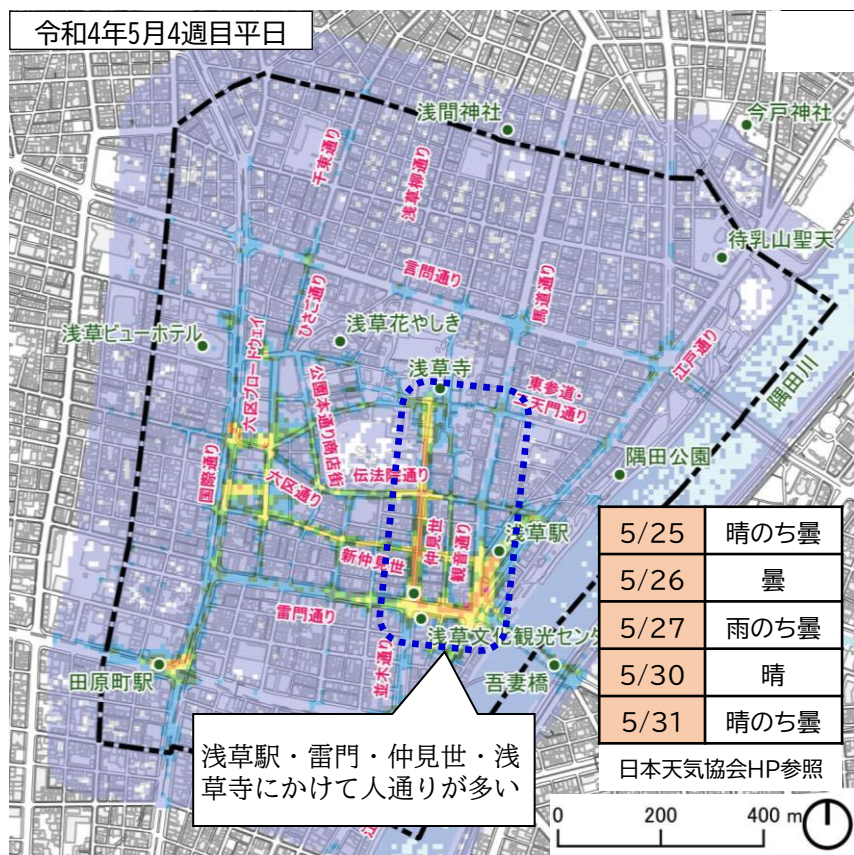
時間帯により車両侵入が禁止されている道路

①. 回遊・滞留空間の充実

①. 回遊・滞留空間の充実

歩行者回遊における混雑状況

•平日・休日ともに浅草駅・雷門・仲見世・浅草寺に人通りが集中している



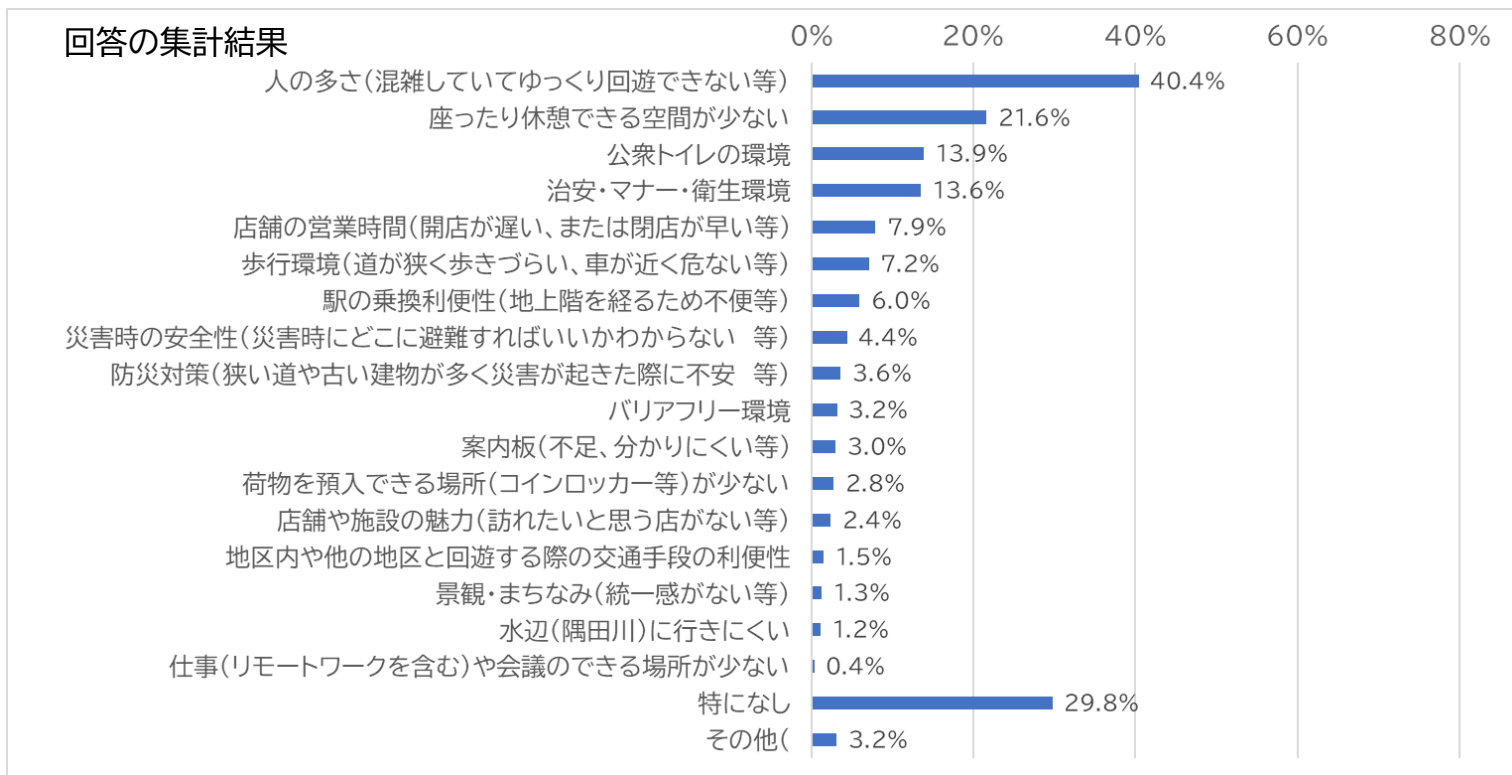
提供元：株式会社Agoop

①. 回遊・滞留空間の充実

歩行者の回遊環境の課題意識

・令和4年度に実施した浅草地区来訪者を対象としたアンケート調査において、**残念だと思うところ最上位に「人の多さ（混雑していてゆっくり回遊できない等）」**が挙げられている

設問：浅草地区の残念だと思うところはなんですか？当てはまるものを全て選んでください。

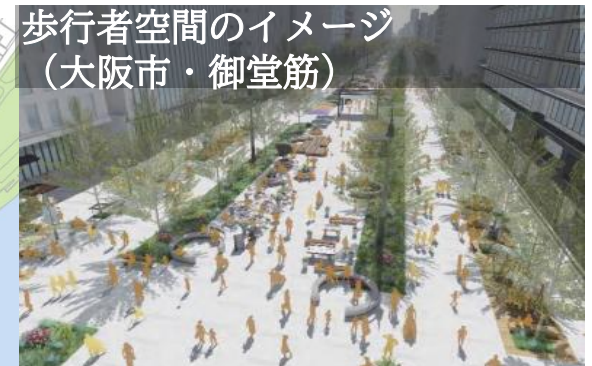


(出典：令和4年度浅草地区来訪者アンケート調査)

①. 回遊・滞留空間の充実

整備イメージ

- 雷門通り、並木通り、馬道通り等の道路空間の再編による歩行者空間の拡充により、ゆったりと広い範囲を、安全で快適に散策できるまちになっている
- 歩行者空間と駅との結節により、回遊の拠点としての強化が進んでいる
- 歩行者空間のネットワーク化により、回遊性が向上している



①. 回遊・滞留空間の充実

広小路の復活



①. 回遊・滞留空間の充実

災害時において来街者の避難等の利用が想定される空間



- 地区周辺の大規模な公共空地は隅田公園一帯に限られており、地区内に滞留空間等を充実していくことが重要である

①. 回遊・滞留空間の充実

東武線・銀座線と隣接する地下街の現状

- 鉄道施設等につながる浅草地下街は開業から70年近くが経過しており、**老朽化が進んでいる**
- 地下街の一部の上部は、特定緊急輸送道路（江戸通り）に位置づけられている

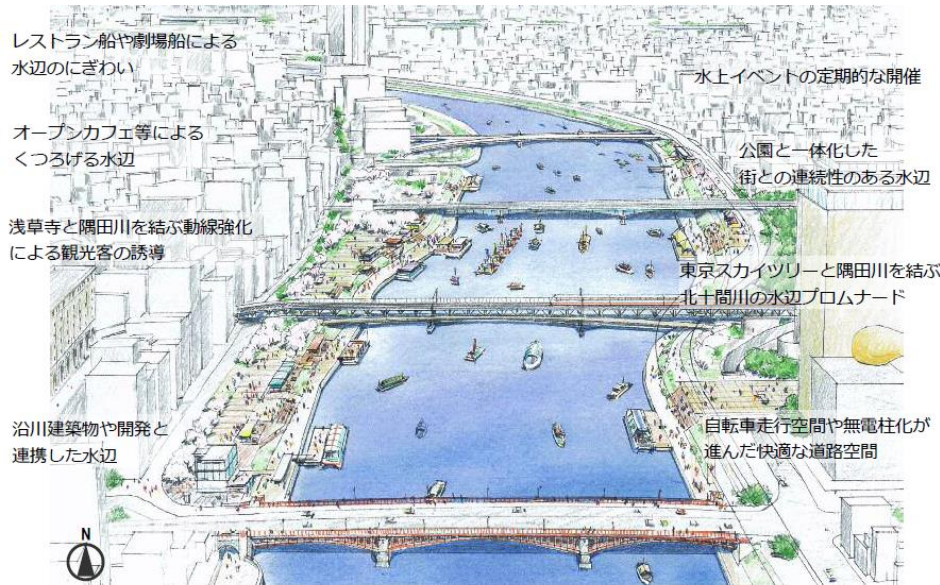


②. 水辺につながる空間の充実

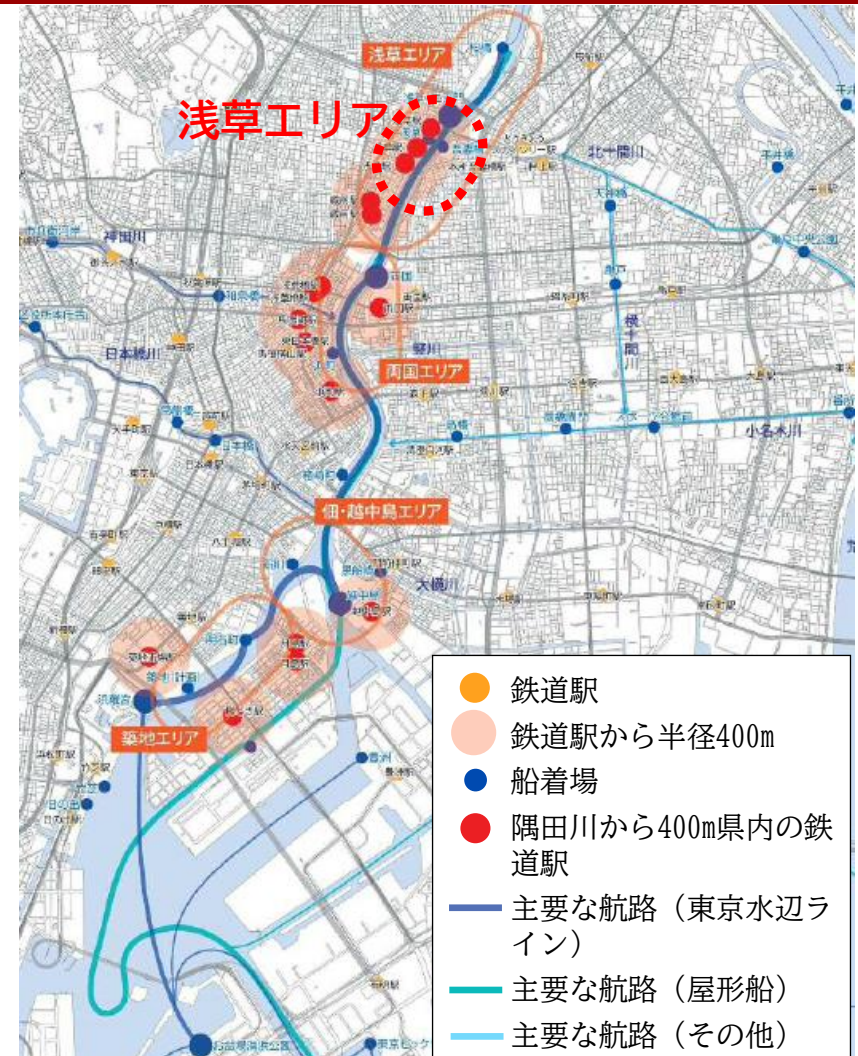
②. 水辺につながる空間の充実

隅田川等における新たな水辺整備のあり方 (東京都)

- 東京都が隅田川の水辺整備のあり方をまとめている
- 浅草は、複数の鉄道駅が集積している。交通結節機能や来訪者の多さを踏まえると、舟運利用の乗換え点としてのポテンシャルが非常に高い



隅田川における浅草エリアの施策展開イメージ
(隅田川等における新たな水辺整備のあり方、東京都 H26. 2)



隅田川の水陸交通結節に関するポテンシャル
(隅田川等における新たな水辺整備のあり方、東京都 H26. 2)

②. 水辺につながる空間の充実

まちと水辺空間の一体感の不足

- 2012年に隅田川親水テラスが完成したが、隅田公園は水辺側と園路側の高低差によって視覚的分断が生じ、**公園と水辺の一体感が感じにくい**状況である



- 江戸通りの沿道には建物が立ち並んでおり、**まち・駅側から水辺へのつながりを感じにくい**状況である

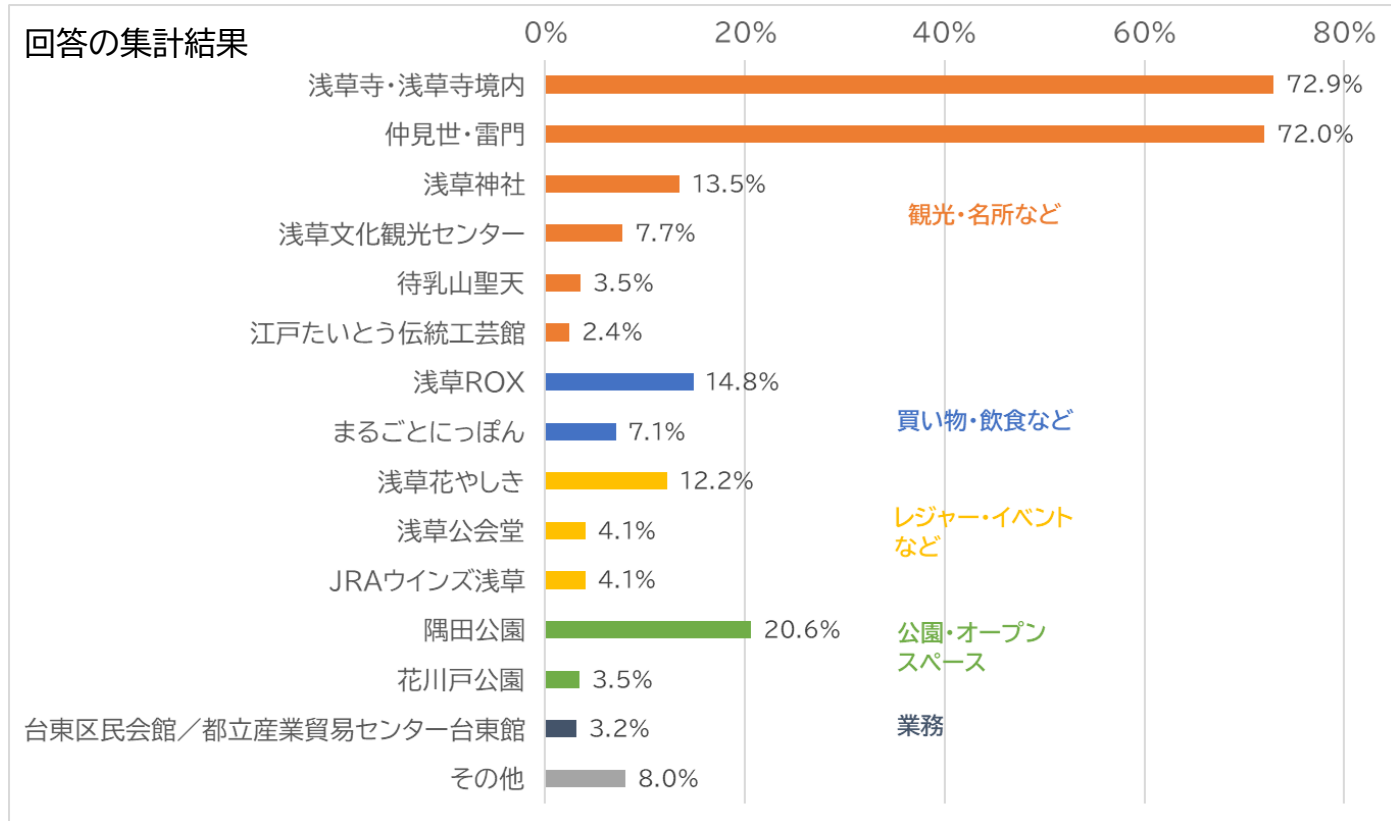


②. 水辺につながる空間の充実

来訪者アンケート調査：浅草地区の来訪場所

・隅田公園は、浅草寺や仲見世に次いで来訪場所として多く挙げられている。

設問：浅草地区内でどの場所を訪れましたか？当てはまるものを全て選んでください。



(出典：令和4年度浅草地区来訪者アンケート調査)

②. 水辺につながる空間の充実

整備イメージ

- スーパー堤防整備により、高潮や大地震による水害への備えができています
- 道路空間の再編や、緑のつながりによる歩行者空間の整備により、まちと水辺の視認性が向上し、人の往来が促進されている
- スーパー堤防にあわせた公園整備により、親しみのもてる居心地の良い水辺空間が整備され、墨田区側との人の往来も活発になっている
- 川沿い街区の建替えにあわせ、川側にも顔を向けたまちづくりが進んでいる
- 舟運による上・下流の交流が活発である

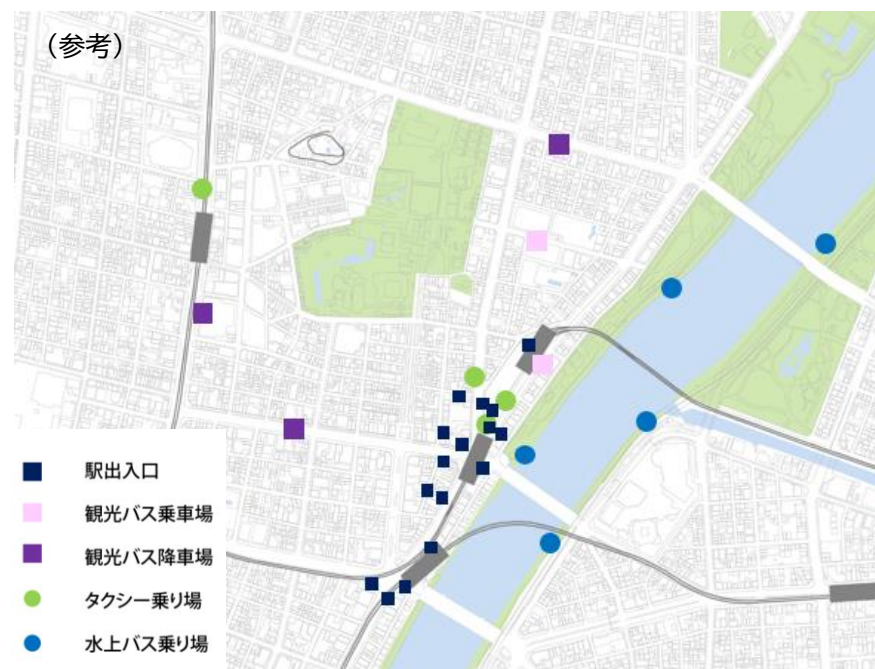
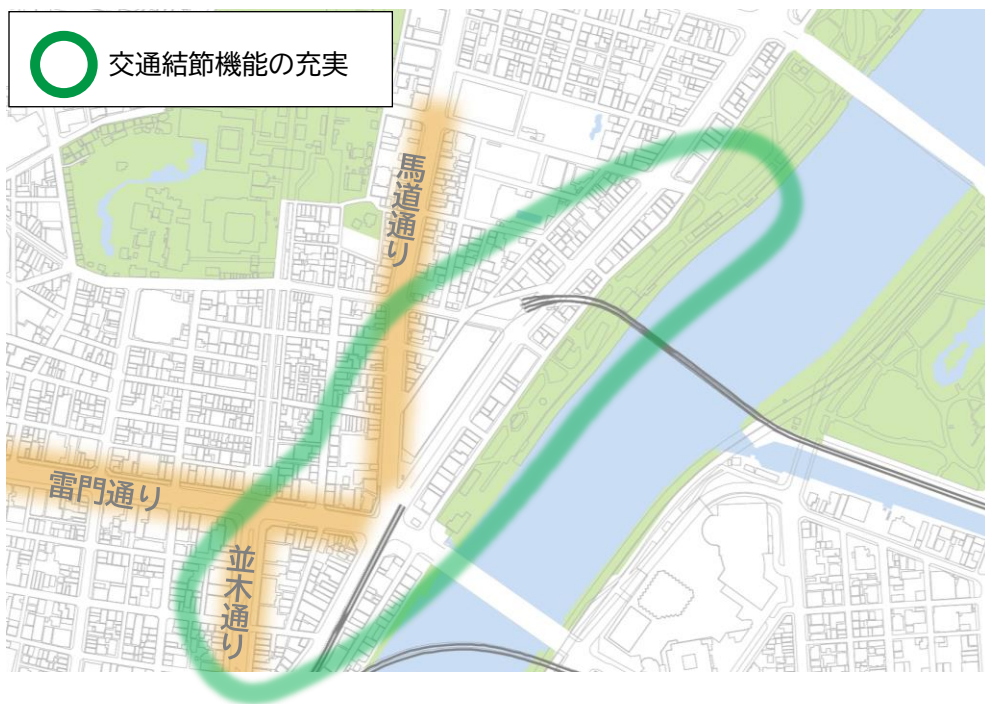


③. 交通結節機能の充実

③. 交通結節機能の充実

整備イメージ

- 駅・まち・水辺にスムーズに行き来できる結節機能の強化により、誰もが使いやすいわかりやすい交通環境が整備されている
- 各交通機関を相互に結ぶ動線整備、バリアフリー化等により、国際観光都市にふさわしい環境整備が推進されている



3. 今後の検討で留意する主な意見

3-1. 今後の検討で留意する主な意見

■交通結節点の強化について

- 浅草は乗換え駅というよりは目的地となる場所であり、混雑対策や休憩場所の不足が課題である
- 来訪者の滞留や分散を図れる空間を確保する考えも必要だろう
- まちには来訪者のキャパシティがあることを意識して周囲に回遊の分散を図ることが重要である。来訪者の需要をマネジメントする考えが必要である

■回遊性向上について

- 東西方向の回遊性向上のため、TX浅草駅方面も西の回遊拠点としての役割が必要である
- 回遊・滞留空間や水辺空間の整備は景観の観点も考慮して推進できると良い

■水辺空間づくり

- スーパー堤防整備は周辺のまちづくりと連携して進める必要がある。また、災害対策のための滞留空間の創出や墨田区側との一体性も重要である
- 江戸通りの横断機能確保のためにはデッキや地下歩道の整備が必要であり、沿道と一体で進めていく必要がある
- 建物老朽化の改善や水辺との繋がり創出も必要である
- 来訪者にとって水上バス乗り場が見通せるようになるとよい。両国やお台場等への広域的なつながりを周知できると良い

■その他

- 防災対策のためには、一時的な滞留ができる広場的な空間が不可欠である